

神聖な三一と共に生きる (1)

インマヌエルとしてのキリストと共に生き、
復活したキリストにわたしたちの中で生きていただく

聖書：マタイ 1:21-23. 18:20. 28:20. II テモテ 4:22. ヨハネ 14:17

- I. 神聖な三一の中で生きることは、彼の中に住むこと、彼の中にとどまること、わたしたちのホームとしての彼の中に居住することです。神聖な三一と共に生きることは、彼がわたしたちの中に住んで、わたしたちがわたしたちと共にある彼の臨在、彼のパーソンを持って、享受することです——ヨハネ15:4：
- A. 住む霊、内住する霊は、わたしたちと三一の神が相互に住むこと、相互に内住することの要素であり、領域です—— I ヨハネ 4:13, 16 後半。
- B. わたしたちは新約の啓示全体の鳥観図を必要とします。新約の四分の一は、わたしたちが三一の神の中で生きることに關してであり、新約の四分の三は、わたしたちが三一の神と共に生きることに關してです。
- II. 神聖な三一と共に生きることは、インマヌエルとしてのキリストと共に生きることです。「『見よ、処女が身ごもって男の子を産む。人々は彼の名をインマヌエルと呼ぶ』(インマヌエルは、神われらと共にいますと訳される)」——マタイ1:23：
- A. 神の意図は、ご自身を命として (ローマ 8:2, 6, 10-11)、わたしたち三部分から成人の中へと、すなわち、わたしたちの霊、魂、体の中へと分与し、わたしたちを彼の子たちとならせ (14-15, 19, 23, 29, 17 節)、キリストのからだを構成して (12:4-5)、わたしたちを命の都としての新エルサレムとならせることです (啓 22:1-2)。
- B. わたしたちは、三一の神が命としてわたしたちの存在の中へと分与することを経験するために、インマヌエルとしてのキリストと共に生きる者たちになる必要があります。マタイによる福音書は、インマヌエル、すなわち、「神が肉体と成ってわれらと共にいます」についての書です—— 1:21-23。
- C. イエスの臨在は、インマヌエル、すなわち、「神われらと共にいます」です：
1. 彼は、わたしたちが集まるときに、わたしたちと共にいます——マタイ 18:20。
 2. 彼は、すべての日々、わたしたちと共にいます—— 28:20。
 3. 彼は、わたしたちの霊の中で、わたしたちと共にいます—— II テモテ 4:22：
 - a. 今日わたしたちの霊は、インマヌエルの地です——イザヤ 8:7-8。
 - b. 神がわたしたちと共におられるので、敵は決してインマヌエルの地を占有することはできません—— 10 節. 参照、 I ヨハネ 5:4. ヨハネ 3:6。
- D. 実行上のインマヌエルは、わたしたちの霊の中におられる究極的に完成された三一の神の臨在としての実際の霊です。彼の臨在は、わたしたちの霊の中で、日ごとにわたしたちと共にあるだけでなく、瞬間ごとに常にわたしたちと共にあります——ヨハネ 1:14. 14:16-20. I コリント 15:45 後半. II テモテ 4:22：
1. わたしたちは共に集まるとき、三一の神の臨在を享受して、彼の聖なる御言

- を教えることができます——マタイ 18:20. 28:20. 詩 119:130. 使徒 6:4。
2. わたしたちは、三一の神の臨在としてのその霊を通して、恵みと平安を享受します——ガラテヤ 6:18. 使徒 9:31。
 3. その霊が導くことと証しすることは、彼の臨在です——ローマ 8:14, 16。
 4. わたしたちが三一の神の分与を享受するのは、彼の臨在、すなわちその霊を通してです——II コリント 13:14。
- E. インマヌエルとしてのキリストと共に生きるために、わたしたちは彼の神聖な臨在の中にいる必要があります。彼の神聖な臨在は、三一の神の究極的完成である命を与える霊です——ガラテヤ 5:25 :
1. キリストと共に生きるために、わたしたちは単独で自分自身によって生きるのではなく、わたしたちの中に生きわたしたちと共にいますインマヌエルとしてのキリストによって生きます。三一の神は、わたしたちの外側で、わたしたちの存在の中へご自身を分与するという彼の意図を完成することはできません。ですから、彼がわたしたちと共にいることは、内側のことでなければなりません—— 2:20。
 2. インマヌエルはわたしたちの命またパースンです。わたしたちは彼の器官であって、彼と共に一人のパースンとして生きています。わたしたちの勝利は、インマヌエル、すなわち、イエスの臨在にかかっています。
 3. わたしたちは主の臨在を持つなら、知恵、洞察力、先見性、物事に関する内なる認識を持つようになります。主の臨在は、わたしたちにとってすべてです——II コリント 2:10. 4:6-7. ガラテヤ 5:25. 創 5:22-24. ヘブル 11:5-6。
- F. わたしたちは良き地の実際としてのすべてを含むキリストに入り、所有し、享受しようとするなら、主の臨在によってそのようにしなければなりません。主はモーセに約束しました、「わたしの臨在があなたと共に行って、わたしはあなたに安息を与える」(出 33:14)。神の臨在は、神の道、すなわち「地図」であって、神の民であるわたしたちが取るべき道をわたしたちに示します :
1. わたしたちは神の建造のためにすべてを含む地としてのキリストを完全に獲得し、所有するために、この原則を保持しなければなりません。その原則とは、神の臨在があらゆる事柄に対する基準であるということです。わたしたちは何をするかにかかわらず、わたしたちが神の臨在を持っているかどうかには注意を払わなければなりません。わたしたちが神の臨在を持っているなら、すべてがありますが、わたしたちが神の臨在を失うなら、すべてを失います——マタイ 1:23. II テモテ 4:22. ガラテヤ 6:18. 詩 27:4, 8. 51:11. II コリント 2:10。
 2. 主の臨在、主の笑顔が支配する原則です。わたしたちは主の間接的な臨在によってではなく、直接の、直の臨在によって守られ、支配され、管理され、導かれることを学ばなければなりません。
 3. 「わたしは若いとき、打ち勝ち、勝利を得て、聖となり、霊的になるさまざま方法を教えられました。しかしながら、これらの方法はどれも役に立ち

ませんでした。最終的に、わたしは六十八年以上の経験を通して、主の臨在以外に何も役に立たないことを見いだしました。彼がわたしたちと共におられることがすべてです」——ヨシュア記ライフスタディ、第8編。

- G. 新約全体はインマヌエルであり、わたしたちは今やこの大いなるインマヌエルの一部分です。この大いなるインマヌエルは、新天新地の新エルサレムにおいて、永遠にわたって究極的に完成します。新約は、「神われらと共にいます」である神・人をもって開始します。そして、大いなる神・人、新エルサレム、すなわち、「エホバはそこにおられる」をもって終わります——マタイ 1:23. I コリント 6:17. 使徒 9:4. I テモテ 3:15-16. 啓 21:3, 22. エゼキエル 48:35.

III. 神聖な三一と共に生きることは、復活したキリストにわたしたちの中で生きていただくことです——ガラテヤ2:20後半. ピリピ1:19-21前半：

- A. 復活はパーソンです。なぜなら、キリストは、ご自身が復活であると言われたからです（ヨハネ 11:25）。命を与える霊は実際の霊として、復活したキリストの実際であり、キリストの復活の力の実際です（I コリント 15:45 後半. ヨハネ 14:17. 16:13. I ヨハネ 5:6. ピリピ 3:10. 出 30:22-25）。
- B. わたしたちのクリスチャン生活において、わたしたちは、内住する霊によって、またわたしたちの外側の環境を通して、キリストの死の殺しの下にいます。外側の環境は、内側の霊と協力して、わたしたちの天然の人を殺し、復活したキリストがわたしたちの内側で現されるようにします——ローマ 8:9-10, 13 後半, 28-29. II コリント 4:7-18：
1. わたしたちは神がわたしたちのために案配した環境から逃げようとするなら、喜びと平安を持ちません。わたしたちは制限された環境にとどまるとき、復活を経験することができます——エペソ 4:1. 6:20. II コリント 1:8-9, 12.
 2. わたしたちは復活したキリストの実際としてのその霊を経験するために、わたしたちの霊に戻って、祈り、賛美し、歌い、神と会話する必要があります。詩篇第 18 篇のタイトルが示しているのは、これが神聖な神とダビデとの、人性の水準における会話であって、ダビデと神との親密な関係を暗示しているということです。わたしたちは十分間、神と会話して相談した後、火が付けられ、復活の実際としてのその霊に満ちます。
- C. イエスの人性は、復活における彼の人の命です。主が魅了することと、はぐくむことは天然的なことではなく、人性における彼の復活の命によります。彼は復活において、自分自身によってではなく、別の源、すなわち彼の御父によって、人の命を生きました——ヨハネ 5:19, 30. 14:24：
1. イエスは彼の人の生活の中で神聖な命を生きただけで、彼の人の生活は奥義的になり、奥義となりました。わたしたちは主の弟子たちとして、わたしたちの人の生活の中で神聖な命を生きて、キリストを大きく表現する必要があります——ローマ 13:14. ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21.
 2. キリストに従う者たちが弟子へと構成されたのは、神・人の原型としてのキリストの地上での人の生活を通してでした。彼は、人性におけるご自身を否むこと

によって神を生きました（ヨハネ 5:19, 30）。これは、人に関する彼らの観念を徹底的に変えました（ピリピ 3:10. 1:21 前半）。

3. わたしたちはみな主によって弟子とされて、神聖で奥義的な人たちとなる必要があります。わたしたちは復活における神聖で奥義的な命によって人々をはぐくむべきです。「復活における」は、わたしたちが人々を顧みることに於いて天然なものがないということの意味します。
- D. 芽を出した杖が表徴するのは、復活した方であるキリストがわたしたちの命、わたしたちの生活、わたしたちの内側の復活の命となるべきであり、この命が芽を出し、開花し、実を結んで円熟すべきであるということです——民 17:8 :
1. イスラエルの子たちが反逆した後、民数記第 16 章において記録されているように、神は十二人の族長たちにイスラエルの十二部族にしたがって十二本の杖を取り、それらを集会の天幕の中にある証しの板の前に置くように命じました（17:4）。それから彼は言われました、「わたしが選ぶ人の杖は芽を出す」（5 節）。
 2. 十二本の杖はすべて葉がなく、根がなく、枯れて、死んでいました。芽を出した杖はどれであれ神によって選ばれた杖でした。ここでわたしたちが見るのは、復活が神の選びの根拠であるということと、奉仕の根拠がわたしたちの天然の命の外にあるものであるということです。こういうわけで、芽を出した杖が表徴するのは、わたしたちが復活におけるキリストを経験して、神に受け入れられ、神の与えられた務めにおいて権威を持つということです。
 3. あらゆる奉仕の原則は、芽を出した杖にあります。神は十一本の杖をすべて族長たちに戻しましたが、アロンの杖を契約の箱の中に保存し、永遠の記念としました。これが意味するのは、復活が神に対するわたしたちの奉仕における永遠の原則であるということです——9-10 節。
 4. アロンの杖が芽を出した後、彼が高ぶる立場は全くありませんでした。彼の経験が示しているのは、すべては神の恵みとあわれみにかかっているということと、わたしたちは自分自身の中では何もすることができないということです——Ⅱコリント 12:7-9. ローマ 9:15-16, 21, 23. ルカ 1:78-79。
 5. わたしたちの資格は神から来るので、わたしたちには高ぶる立場は全くありません。愚かな人だけが、自分は他の人たちよりもまさっていると言います（Ⅱコリント 3:5. マタイ 26:33. ヨハネ 21:15. 参照、マルコ 11:9）。へりくだりは、あらゆる種類の破壊からわたしたちを救い、神の恵みをもたらします（Ⅱコリント 12:7-9. ヤコブ 4:6. 参照、ローマ 12:3. ガラテヤ 5:26. マタイ 18:3-4. 20:20-28. Ⅱコリント 4:5）
 6. 復活は、わたしたちの天然の命からでないもの、自分自身からでないもの、わたしたちの能力に基づいていないものすべてです。復活が語っているのは、わたしたちを超越している事、すなわちわたしたちが自分自身では行なうことができない事です——1:8-9. 4:7。
 7. 復活が意味するのは、すべてが神からであって、わたしたちからではないということです。それが意味するのは、神だけができ、わたしたちはできない

ということです。復活が意味するのは、すべてが神によって行なわれ、わたしたちによってではないということです—— 1:12. ペリピ 3:10-11

8. わたしたちが行なうことができることは、天然の領域に属します。わたしたちが行なうことができないことは、復活の領域に属します。人は自分自身の終わりへともたらされなければなりません。そうしてはじめて、人は自分が全く役に立たないことを確信します——マタイ 19:26. マルコ 10:27. ルカ 18:27。
9. クリスマンと勝利者になることは単に難しいだけではなく、不可能であることを、わたしたちは見る必要があります。すべてを含む霊としてわたしたちの中に生きている、手順を経て究極的に完成された三一の神だけが、クリスマンと勝利者になることができます。わたしたちに必要やできないことがあるとき、あるいは困難な状況に直面しているとき、わたしたちはそれについて彼に語るすることができます。そうすれば、わたしたちの中に住んでおられる方である彼は、入って来てその状況に直面し、何であれ必要とされることを行なってください。そしてわたしたちは自然にキリストを生きます——ペリピ 4:5-7, 12. 1:21 前半。